

令和5年度 第3回 篠原小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年7月31日（月） 13時30分から15時10分まで
- 2 開催場所 篠原小学校 各教室
- 3 出席委員 鈴木 直樹、脇本 和義、森下 晃司、小楠 倫嗣、辻村 栄子、
石津 正貴、野寄 裕義、佐野 みなみ
- 4 欠席委員 横井 詠子
- 5 学 校 結城 知則（校長）、井上 純子（教頭）、中村 敦（主幹）、
井内 早穂里（CS担当教職員）、他職員28名
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 井内 早穂里
- 8 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、協議の中で会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

9 協議事項

- （1）篠原の強みについて
- （2）グループ熟議（地域・家庭・他団体とのつながりについて）

10 会議記録

司会から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）篠原の強みについて

- ・子供たちが優しい。挨拶もするし、にこにこしていて嬉しく思う。共同世帯が多いからかもしれない。（森下委員）
- ・学年間の差がなくよく遊んでいる。1年生に優しく接してくれる6年がいる。（野寄委員）
- ・海が近いのは篠原地区の強みであるが、海の魅力と共に海の怖さについても学校で指導してほしい。（小楠委員）

（2）グループ熟議（地域・家庭・他団体とのつながりについて）

グループ①地域とのつながりについて（直樹委員・小楠委員・森下委員）

- ・篠原の子供たちについてどう感じるか

→時代が変わってきているので、わがままな子や我慢ができない子が多いと感じる。また、子供会がないので、他団体が子供とお年寄りとの交流活動を増やしている。そこから地域防災へつなげたい。（森下委員）

→4年生ののこぎり補助ボランティアに参加したが、子供たちはもっと積極的になってもいい。分からないことはもっと進んで聞いてもらいたい。また、祭りが復活するので積極的に参加してほしい。（直樹委員）

→地域の会社である小楠金属にぜひ社会科見学に来てもらいたい。地域のことをぜひ知ってもらいたい。（小楠委員）

グループ②家庭とのつながりについて(石津委員・佐野委員・野寄委員)

・グランドデザインや求める教員の姿について

→子供たちに分かる言葉、子供目線で書いてあるので分かりやすいと思う。(佐野委員)

→「人を傷つける言葉を使ってはいけない。」と子供が言うので、子供に浸透していると思う。

子供が学校に行きたいと思える先生がいいと思う。(石津委員)

・ぐんぐんスポーツ大会について

→午前中仕事の保護者は一日休みを取らなくて済むのでよい。一日中であると、弁当準備や暑さ対策、場所取りで大変。今回の方法がいいと思っている保護者もいる一方で、盛り上がりを求めている保護者もいる。(佐野委員)

→仕事をしている保護者も多いから午後のほうがベター。ぐんぐんスポーツ大会は全学年で開催してほしい。他学年の大会も見たい。(石津委員)

→自分の子供の走る順番が違ったように思う。順位や順番は保護者の関心ごと。(野寄委員)

・成績について

→成績は自分の得意なことが見えるものだと思う。体育で活躍できる子もいる。社会に出たら優劣がつくから、成績は必要だと思う。(石津委員)

→「学校から」の欄を一番楽しみにしている。(佐野委員)

→子供の良い姿を書いてくれているので、家では見せない姿を知れて嬉しいし安心する。「こうやるとステップアップできる」が知りたい。(野寄委員)

・学習支援ボランティアについて

→係だから強制というのではないので負担には感じない。今のやり方でいいと思う。直前のコーディネーターからのお願いでも対応できている。子供たちも地域の人に人見知りしない。全ての学年まんべんなくあるとよい。ボランティアの方が子供を褒めてくれてありがたい。(野寄委員)

→ボランティア活動を広めて学習内容を分かってもらうことが大事。ボランティアは認知されていないと感じる。(佐野委員)

グループ③他団体とのつながりについて(脇本委員・辻村委員)

・子供たちの素地が低下していることについて

(集中して読書ができない、握力がついていなくて遊具遊びができない、本がめくれないなど)

→園で自由保育が主になってきているからかもしれない。(辻村委員)

→家庭の差もある。子供たちだけの責任ではない。大人が忙しくて子供本人がやるべきことに手を出してしまっている。(脇本委員)

・幼小の壁、小1プロブレムについて

→文字は読めたり、書けたりするよというので、園でもやることが多い。給食の連携は難しい。30分～45分食べる時間がある。嫌いでも少し食べてみるように声を掛けている。挨拶や好き嫌いを減らすことなどは、保育園でも園児に話している。園によっても差があり、弁当だと好きなものしか入っていないことがあるが、園時代から給食だと様々な食材に慣れてくると思う。食事に関する話を伝えると関心が湧くので、教師も楽しく興味を持たせることが大切。(辻村委員)

・小学校との情報交換について

→情報交換というほど格式張らず「この子…」と思ったとき、すぐ園に問い合わせができる関係性が大切。職員と園の職員がお互いを「見る」ことが大切だと思う。(脇本委員)